

# 大島正克教授の退職記念号の刊行にあたって

経営学部長 高石光一

大島正克先生は、2019年3月31日をもって、亜細亜大学経営学部をご定年により退職されます。経営学部は、先生のご退職を記念して『経営論集』第54巻第2号を定年退職記念号として刊行し、これを謹んで大島先生に献呈させていただく次第です。

大島先生は、1948年滋賀県草津市にお生まれになり、中学の時に上京しその後、都立新宿高校、早稲田大学商学部をご卒業された後、同大学院商学研究科博士課程を1981年に修了されました。そして、同年、亜細亜大学経営学部にご着任されました。1993年に経営学部教授、2000年からの2年間と2006年からの4年間は経営学部長、2015年からの3年間は副学長、理事をお努めいただきました。そして2018年10月に本学学長に選出されました。

大島先生は、実に39年の長きにわたり会計学の分野を中心に本学に貢献されてこられました。大島先生は、ご研究面では2005年に「中国企業会計の研究」にて早稲田大学から博士号を授与されました。近年、校務ご多用の中でも、アジアにおける環境会計や社会関連会計の領域にも研究範囲を広げられ、「スタディグループ研究最終報告書：ESG情報に求められる会計の役割—ESG情報による企業価値評価—」（日本社会関連会計学会、2016）、「社会的費用の内部化に関する一考察」（亜細亜大学アジア研究所紀要、2016）、「COP21発効後の中国企業における真の付加価値（TRUEVA）に関する一考察—座礁資産とESG投資に関連させて」（再生可能エネルギーシフトから作る東アジア低炭素経済コミュニティ、2017）などにより先端研究にも注力されています。さらに、日本管理会計学会では、理事、常務理事、副会長、常務理事などを歴任され、2017年には功績賞を授与されています。また、2011年以来、公認会計士試験の試験委員を現在までお努めになられています。

教育面では、大島先生は約30年前に他学に先駆けて、「トップマネジメント特別講義」を開設し、数多くの経営者を講師として招聘されました。以来、同講義はビジネスの最先端で活躍する著名人による実践型の経営論を紹介する看板講座として、学内外に学問の枠を越えた新しい視点を発信し続けております。大島先生は学部、短大、大学院などのご講義やゼミを通して、日本人・留学生の逸材を輩出され、現在、実に多くの者が実業界や教育界などで活躍されています。特に、大島先生のゼミでは硬式野球部員を受け入れると共に、硬式野球部部长も歴任し、硬式野球部部长時代には18名のプロ野球選手を輩出されています。本学硬式野球部を神宮球場に導き、これまで8回も優勝させ亜細亜大学の名を轟かせているのは、大島先生のご尽力の賜物です。

大島先生のご貢献は、上述の研究、教育にとどまらず、学内では2009年、経営学部にホスピタリティ・マネジメント学科を創設され、自らも同学科の教授としてその発展にご尽力いただき

ました。

大島先生は、初代学長太田耕造先生が採用されました最後の先生です。そのような先輩が本学園のリーダーになられたことは大変心強いかがりです。大島先生は、学長にご就任されると同時に「アジア未来マップ2025」成就のため、第2期3カ年中期行動計画を発表され、「グローバル人材育成の一層の推進」「教育の亜細亜の学修成果の可視化」「2023年度にむけた学部新設や改組の可能な体制の確立」を掲げられました。

ご退職されましても一息つくどころか、今後の亜細亜大学に向けてご尽力されていることと存じますが、ご退職に際し、これまでの大島先生のご貢献・ご指導に教員一同を代表し感謝の意を表したく存じます。大島先生、長い間本当にありがとうございました。

(2019年1月31日)